

4月24日(金)の朝日新聞にて、今年の3月18日に総合自然科学コース(科)特別講義でお招きした医療機器メーカーの「シスメックス」に関する記事が掲載されていました。

海外進出を目指して、医療用ロボットの研究を行うことについてくわしく書いてあります。ぜひ目を通してみましょう。

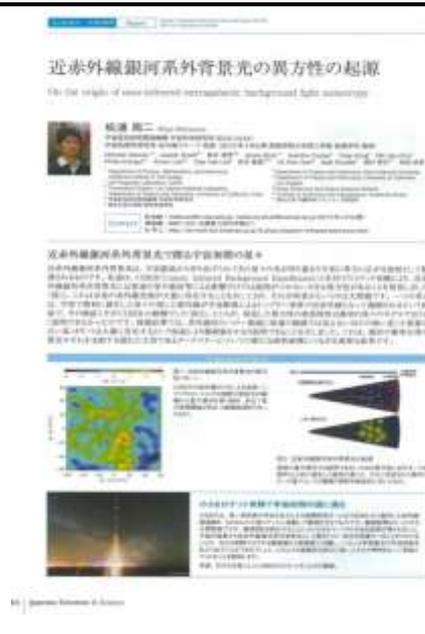
シスメックスは、主に血液や尿などによる臨床検査機器の開発や製造・販売、輸入を取扱い、海外にも多くの研究拠点がある企業です。

特別講義では、数ある研究の中から、患者の負担を軽減することができるような新たな検査機器のお話をいただきました。

海外の文化に触れ、日本とは異なる環境で働くことも、これからの時代には必要とされています。

これから行われる海外への研修などに参加することは、自分の将来の可能性を広げることにつながることでしょう。話を聴いた会社の記事を見るとうれしいですね。

産業用ロボットの大手、川崎重工と医療機器メーカーのシスメックスが神戸に協働で設立した新会社「メディカロイド」について、世界市場に向けて医療ロボットの開発を行っている旨の記事がありました。著作権の観点からホームページでは割愛いたしました。



さらに、昨年7月にコース特別講義をいただいた、JAXAの松浦周二先生が、現在、関西学院大学工学部物理学科で教授として活躍されています。松浦教授の研究は、「サイエンス誌に載った日本人研究者」として、SSH校に配布される権威ある雑誌「Science」の2015年号にて紹介されています。

専門的な内容も含まますので、本紙面上では小さく掲載されていますが、職員室にあります。興味のある生徒のみなさんは、職員室に見に来てみてはどうでしょうか。実は、すごい方の講演を聴いていたんですね。

このように、後々、新聞や権威ある雑誌で紹介されるような偉大な研究者の言葉を直に聴くことができる機会はなかなかありません。SSH校である龍野高校に通う皆さんは貴重な経験と機会をしっかりと自分のものとし、将来につなげてください。